

紹介/常連さん! ①



ソロリンにおさまって

しもはじ埴輪キャンプ場の常連キャンパーさんを紹介し
ます。

第1回は毎回ソロキャンプを楽しんでいる高根さん。
キャンプ歴は6年ということです。

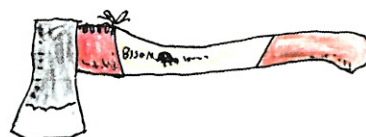
しもはじ埴輪キャンプ場をメインのキャンプ場にしてく
ださっていて、年間15泊ほどの利用されます。

最近の高根さんは、ほぼ林間の「ソロリン」にテントを
設営します。3~5mほど離れた木々に囲まれたソロに
適した林間サイト。だから「ソロリン」です。毎回、そ
のスペースにうまくおさまるように自分のテント場を構成
して、のんびりとキャンプを楽しんでいます。

利用しているテントはワンポールの「YOKA TIPI」。国
内メーカーのもの。ダークカーキ色のテントは林間に溶
け込み“存在”を感じさせません。耐熱布の穴から煙突
を出して薪ストーブを使っています。無駄のない道具類
の配置で、完璧にソロキャンプを楽しんでいます。

高根さんがしもはじ埴輪キャンプ場を利用するのは「安
らぎを求めて」。「自然に囲まれて、静かなキャンプ環
境」がよく利用す

薪(まき)は使い分けて楽しむ



キャンプに「焚き火」は付きものです。日ごろの生活では焚き火
をすることが困難になっています。だからこそ、キャンプで焚き火をして、揺らぐ火を眺めて安らぎ、
あるいは直火で調理するのは楽しいのです。

その焚き火に使う「薪」の話です。

キャンプ場では薪を販売しています。

「針葉樹・薪」(1,100円)と「広葉樹・薪」(1,650円)があります。どう違うのでしょうか?

「針葉樹」は主にスギやヒノキなど。成長が早くまっすぐに育つので、昔から建材として利用され、
日本中にたくさん植樹されています。しかし、春先に花粉を放ちますので嫌われている樹木でもあり
ます。成長が早いので比較的柔らかく、そのため薪にすると火点きが良くて勢い良く燃えます。

「広葉樹」の薪は主にコナラやクヌギなどの落葉樹が
メインです。じっくりと成長する樹木なのでその分固
く、ゆっくり燃えて長持ちします。

燃やし始めには針葉樹を使い、火床ができたなら広葉樹
に切り替えていくのがベスト。ゆるやかに燃える火を
楽しむことができます。

スタッフのキャンプのベテラン・エバちゃんは、キャン
プの焚き火には「桜」材(広葉樹)を使います。自
宅に焚き火用の桜材をたくさんキープ。桜はスモーク
材にも使うぐらいですから、「煙」が流れてきてもそ
れほど煙くないので焚き火に最適なのです。



キャンプ場の紅葉樹の新置き場。